

## 2012年10月硫黄島・竹島における昆虫記録

金井 賢一

The recorded insects of Iwo-jima and Take-shima (Mishima-mura Kagoshima Prefecture) in October 2012

Kenichi KANAI

### はじめに

2012年10月、筆者は鹿児島県三島村の竹島・硫黄島において、昆虫を調査する機会を得た。その結果を報告する。

2006年に「三島村昆虫保護条例」が制定され、許可を受けた者が、申請した昆虫のみ採集できる状況になって以来、記録の蓄積が難しくなっている。そこで県立博物館では基礎情報の収集・発表を目的とした調査を継続している。特に近年筆者はタイワンツバメシジミの分布に注目しており、秋に発生する本種を中心に調査した。

これまで鹿児島県立博物館研究報告書には三島村の昆虫に関する報告が9件あり(畑田, 1987; 畑田, 1990a; 畑田, 1990b; 江平・小野田, 1996; 山下, 2000; 福田・廣森, 2002; 中峯, 2006; 中峯・江平・今村, 2007; 金井・守山・中峯, 2012), 収集してきた資料も、保管されている。

それぞれの島に記録のあるチョウは、迷蝶も含めて竹島15種、硫黄島12種、黒島38種となっている(福田・守山, 2013)。今回竹島で新たに2種(ウラナミシジミ, ルリシジミ), 硫黄島で4種(イチモンジセセリ, ルリシジミ, ツバメシジミ, ウスイロコノマチョウ)を記録した。このように、調査によって記録されるチョウの種数は増加し、また近年記録のない種

に関しては絶滅した可能性も出てくる。そういう意味でも、できるだけたくさんの方でモニタリングすることは、地球温暖化の影響のような大きな変化のみならず、工事など地域的な小さい環境変化の影響をも記録することになる。

なお、今回の調査のために便宜を図っていただいた三島村に深く感謝すると共に、記録の発表が遅れたことをお詫びする。

### 1 調査の日程 (図1, 図2参照)

- 10月4日 9:30 鹿児島発フェリーみしま  
13:30 硫黄島着 硫黄島集落～恋人岬～硫黄島飛行場～平家城跡～稲村岳山麓～硫黄島集落  
(移動は民宿で借りた車による)
- 10月5日 午前 硫黄島集落～稲村岳山麓で採集  
10:00 硫黄島発 → 10:50 竹島着  
集落～東風泊～オンボ崎～竹島東道路～佐多浦牧場～集落
- 10月6日 竹島集落～東風泊～先ノ江鼻～竹島東道路～林道竹島線～竹島集落
- 10月7日 竹島集落～竹島東道路～佐多浦牧場～竹島集落  
(移動は民宿で借りた車による)  
11:00 竹島出港 → 14:00 鹿児島着

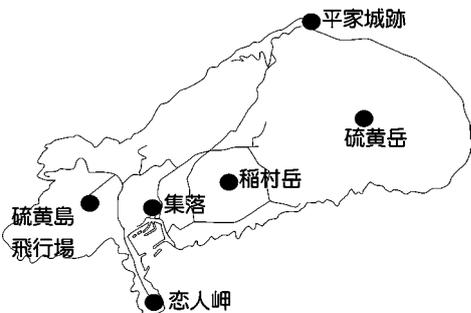


図1 硫黄島調査地

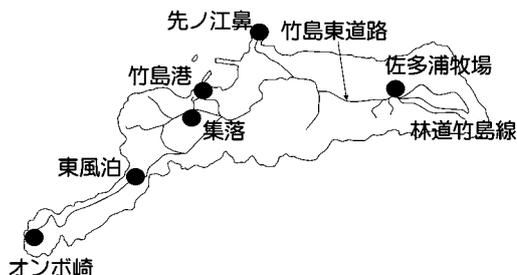


図2 竹島調査地

## 2 調査者

金井賢一：鹿児島県立博物館学芸主事

## 3 調査結果

以下に採集・観察した昆虫を記す。なお、採集者は全て金井賢一、採集年は全て2012年なので省略した。また、\*は注意したにもかかわらず見つからなかった昆虫である。期間中は天候に恵まれ、両島とも好天の中の調査であった。残念ながら期間中に体調を崩し、灯火採集ができなかった。

### (1) 硫黄島の記録

カマキリ目（蟷螂目） **MANTODEA**

カマキリ科 **Mantidae**

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis*

硫黄島飛行場（1♀ 5. X）

バッタ目（直翅目） **ORTHOPTERA**

ツユムシ科 **Phaneropteridae**

サトクダマキモドキ *Holochlora japonica*

平家城跡（1♀ 4. X）

退色が激しく、同定に困難を要した。山下（2000）

の記録を元に、本種と同定した。

イナゴ科 **Catantopidae**

ハネナガイナゴ *Oxya japonica*

硫黄島飛行場（1♂ 4. X）、平家城跡（1♀ 4. X）

バッタ科 **Acrididae**

マダラバッタ *Aiolopus tamulus*

硫黄島集落（1♂ 5. X）

ハチ目（膜翅目） **HYMENOPTERA**

ツチバチ科 **Scoliidae**

ハラナガツチバチ *Campsomeris schulthessi*

硫黄島集落（2♂ 5. X）

ミツバチ科 **Apidae**

スジボソフトハナバチ *Amegilla florea*

硫黄島集落（1♀ 4. X）

コウチュウ目（甲虫目） **COLEOPTERA**

コガネムシ科 **Scarabaeidae**

アオドウガネ *Anomala albopilosa*

硫黄島飛行場（1ex. 4. X）

チョウ目（鱗翅目） **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

イチモンジセセリ *Parnara guttata*（図3）

硫黄島集落（1ex. 4. X, 2exs. 5. X）、硫黄島飛行場（2exs. 4. X）

**硫黄島初記録。**安定して発生しているか、個体数の少ない春から夏にかけて調査が必要である。



図3 イチモンジセセリ

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ルリシジミ *Celastrina argiolus*

硫黄島集落（3♀ 4. X, 1♀ 5. X）、稲村岳（4♀ 5. X）

**硫黄島初記録。**多くの雌が採集されたことから、安定して発生できるかどうか、クズなどのマメ科植物の量と比較して確認する必要がある。

ツバメシジミ *Everes argiades*

硫黄島集落（1♂ 4. X）

**硫黄島初記録。**シバハギ群落に1頭だけいた。

おそらく迷蝶と思われる。

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

硫黄島飛行場（2♀ 4. X）、硫黄島集落（1♂ 5. X）

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

平家城跡（1♀ 4. X）

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*（図4）

硫黄島集落（多数の卵殻 4. X）

成虫の姿は見られなかったが、三島小学校の校庭にあるソテツの新芽に、多数の卵殻が見られた。

\*タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

幼虫の食草であるシバハギは小さな群落が平家城跡、硫黄島集落内、硫黄島空港にあり、大きな群落が稲村岳山麓にあった。これらを丹念に探したが、本種は見つからなかった。ただし発生時期を過ぎていた可能性もあり、いないという結論は出せない。



図4 クロマダラソテツジミの卵殻

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*

硫黄島飛行場 (1 ♀ 撮影 4. X)

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

硫黄島集落 (1ex. 5. X)

ウスイロコノマチョウ *Melanitis leda*

硫黄島集落 (1ex. 5. X)

**硫黄島初記録。** 迷蝶である。

スズメガ科 **Sphingidae**

ホシホウジャク *Macroglossum pyrhosticta*

平家城跡 (1ex. 4. X)

## (2) 竹島の記録

カマキリ目 (蟷螂目) **MANTODEA**

カマキリ科 **Mantidae**

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis*

竹島集落 (1 ♀ 5. X)

バッタ目 (直翅目) **ORTHOPTERA**

キリギリス科 **Tettigoniidae**

ヒサゴクサキリ *Agroecia luteus*

竹島集落 (1 ♂ 6. X)

イナゴ科 **Catantopidae**

ハネナガイナゴ *Oxya japonica*

竹島集落 (1 ♂ 1 ♀ 6. X)

バッタ科 **Acrididae**

オンブバッタ *Atractomorpha lata*

竹島東道路 (1 ♀ 6. X)

ショウリョウバッタモドキ *Gonista bicolor*

オンボ崎 (1 ♀ 5. X), 竹島東道路 (1 ♀ 6. X)

マダラバッタ *Aiolopus tamulus*

竹島集落 (1 ♂ 6. X)

ヨコバイ目 (同翅目) **HOMOPTERA**

クロイワツクツク *Meimuna kuroiuae* (図5)

竹島集落 (3 ♂ 2 ♀ 6. X)

非常に多くの個体が、集落にある体育館前の広場で鳴いていた。



図5 クロイワツクツク

コウチュウ目 (甲虫目) **COLEOPTERA**

カミキリムシ科 **Cerambycidae**

ウスアヤカミキリ *Bumetopia oscitans*

硫黄島飛行場 (1ex. 4. X)

ハチ目 (膜翅目) **HYMENOPTERA**

ツチバチ科 **Scoliidae**

ハラナガツチバチ *Campsomeris schulthessi*

林道竹島線 (2 ♂ 5. X)

ヒメハラナガツチバチ

*Campsomeriella (Annulimeris) annulata*

東風泊 (1 ♀ 5. X)

ドロバチ科 **Eumenidae**

オオフタオビドロバチ (三島亜種)

*Anterhynchium flavomarginatum procella*

竹島集落 (1 ♀ 6. X)

アナバチ科 **Sphecidae**

キゴシジガバチ

*Sceliphron (Sceliphron) madraspatanum*

東風泊 (3exs. 5. X)

ミツバチ科 **Apidae**

スジボソフトハナバチ *Amegilla florea*

竹島東道路 (1 ♀ 6. X)

クマバチ *Xylocopa appendiculata*

林道竹島線 (1 ♀ 5. X), 竹島東道路 (1 ♀ 6. X)

チョウ目 (鱗翅目) **LEPIDOPTERA**

セセリチョウ科 **Hesperiidae**

イチモンジセセリ *Parnara guttata*

東風泊 (1ex. 撮影 5. X), オンボ崎 (1ex. 産卵 5. X), 竹島東道路 (1ex. 撮影 5. X)

個体数が多かった。

アゲハチョウ科 **Papilionidae**

モンキアゲハ *Papilio helenus*

林道竹島線 (1♂ 5. X), 竹島集落 (1♂ 6. X)

シジミチョウ科 **Lycaenidae**

ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

林道竹島線 (1♂ 5. X), 竹島東道路 (1♂ 6. X)

ウラナミシジミ *Lampides boeticus*

佐多浦牧場 (1♀ 7. X)

**竹島初記録。** 移動性の高い種なので、おそらく今までも竹島に到達していたであろう。

ヤマトシジミ *Zizeeria maha*

東風泊 (1♂ 5. X), オンボ崎 (2♂ 5. X), 林道竹島線 (3♂ 5. X), 竹島集落 (1♀ 6. X), 竹島東道路 (1♂ 1♀ 6. X)

ルリシジミ *Celastrina argiolus* (図6)

佐多浦牧場 (1♀ 6. X), 竹島東道路 (1♀ 7. X)

**竹島初記録。**



図6 ルリシジミ

タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus*

佐多浦牧場 (2♀ 7. X)

最終日に牧場の周りにあるシバハギから、尾状突起のかるうじて残るような飛び古した雌が得られた。おそらく発生期の末期だったと思われる。藤田も、2005年9月25日から26日にかけて3♂1♀確認しており(藤田, 2006), 三島村で本種を探索するのは9月下旬が最適のようだが、例年フェリーがドッグに入る時期に当たるので、思うように調査できない現状がある。

クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

竹島集落 (2♀ 6. X)

タテハチョウ科 **Nymphalidae**

ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*

オンボ崎 (1ex. 5. X)

スカシバガ科 **Sesiidae**

モモトスカシバ *Melittia japona*

竹島集落 (1♀ 6. X)

スズメガ科 **Sphingidae**

ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta*

林道竹島線 (1ex. 5. X)

#### 4 今後の調査について

2015年(平成27年)3月から5月にかけて、鹿児島県立博物館では三島の自然を紹介する企画展を計画している。今までの調査の積み重ねと、今後の調査・資料収集で展示内容を高め、島ごとに異なる魅力を持つ三島を紹介したいと考えている。

#### 引用文献

- 江平憲治・小野田繁(1996)鹿児島県・黒島の昆虫相. 鹿児島県立博物館研究報告書, 15:39-48.
- 藤田清和(2006)鹿児島県竹島でタイワンツバメシジミを採集. 蝶研フィールド, 238:54.
- 福田晴夫・廣森敏昭(2002)鹿児島県三島村黒島2001年6月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告書, 21:27-46.
- 福田晴夫・守山泰司(2013)鹿児島県産チョウ類の分布ノート. SATSUMA, 150:3-40.
- 畑田健治(1987)黒島の昆虫相(第1報). 鹿児島県立博物館研究報告書, 6:9-12.
- 畑田健治(1990)黒島の昆虫相(第2報). 鹿児島県立博物館研究報告書, 9:5-8.
- 畑田健治(1990)薩摩硫黄島の昆虫相. 鹿児島県立博物館研究報告書, 9:9-13.
- 金井賢一・守山泰司・中峯浩司(2012)2010年10月黒島における昆虫記録. 鹿児島県立博物館研究報告書, 31:73-78.
- 中峯浩司(2006)鹿児島県三島・竹島2005年8月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告書, 25:56-62.
- 中峯浩司・江平憲治・今村久雄(2007)鹿児島県三島村黒島における2006年7月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告書, 26:89-101.
- 山下秋厚(2000)鹿児島県三島3島におけるバツタ目の分布. 鹿児島県立博物館研究報告書, 19:61-70.